

パブリック・コメントの実施結果について

1 パブリック・コメントの実施結果について

- (1) 実施した政策等 養老線交通圏地域公共交通計画（素案）
- (2) 実施期間 令和8年6月26日（金）～7月25日（土）
- (3) 実施方法 「大垣市パブリック・コメント手続要綱」によるもの
- (4) 意見提出者数 9人
- (5) 意見提出件数 26件（提案・意見：24件、賛同：2件）

2 養老線交通圏地域公共交通計画（素案）に係る意見の概要等について

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
1	混雑対応とダイヤ簡素化のため全編成を3両編成にしてほしい。 またラッシュ時の20分間隔への増便や区間便（大垣～養老、桑名～駒野）を毎時1本、走破列車を毎時1本としてほしい。	P. 43「施策 I -1 運行サービスの改善、高度化」において、実施予定事業として、「① ダイヤの改善」、「③ 通勤通学時間帯増便」を掲げています。 現在、2両編成と3両編成を組み合わせて運用していますが、利用実態を鑑みて、適正な車両編成を目指してまいります。 増便については、利便性向上につながるよう取り組んでまいります。
2	運行本数を増やし、利便性を向上させてほしい。	また、増便による運転士や車両の運用につきましては、事業者において適正に対応していきます。
3	全駅に簡易改札機を設置してICカード乗車券（TOICA等）に対応させてほしい。 また、JR・名古屋市交通局・名鉄等と連携し、IC定期券1枚で3社直通利用できるようにしてほしい。	P. 45「施策 I -3 DXの推進による利便性の向上」において、実施予定事業として、「① 交通系ICカード等の導入」を掲げています。 事業者と連携し、交通系ICカード等の導入を検討し、利便性向上を図ってまいります。
4	交通系ICを導入してほしい（自動改札が難しければポール型改札でも可）。利便性向上とキセル対策に有効。	

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
5	大垣駅でのJR線との接続(乗り継ぎ)改善を図ってほしい。	<p>P. 45「施策Ⅰ-4 鉄道ネットワークの強化」において、実施予定事業として、「①他路線（JR東海：東海道本線、関西本線、近鉄：名古屋線、樽見線、北勢線）との乗継・接続利便性の向上」を掲げています。</p> <p>関係事業者と連携し、スムーズな乗り換え（接続時間の短縮）が可能となるよう、緊密な情報共有と調整を図ってまいります。</p>
6	<p>本数の増発が理想ではありますが中々容易ではないと思います。限られた本数であっても、乗り換えの利便性確保が大事だと思われます。大垣駅の終電がJR到着の1分前に発車するのを2年経っても改善できないのが大問題です。</p> <p>あとは大垣駅のJR及び桑名口の近鉄が遅延した時に数分程度（2、3分程度でも）接続待ちを行うような協定を結べるように努力すべきだと思います。</p>	
7	JR大垣駅の到着ダイヤに対応し、余裕を持った乗換ができるダイヤ編成を希望する。	
8	ATM・簡易郵便局・コンビニの誘致、行政出張所や防災倉庫の設置等、駅が生活に必要な場所として認識されるよう「駅」以外の機能を付加してほしい。	<p>P. 46「施策Ⅱ-1 駅の機能改善、強化」において、実施予定事業として「①駅舎及び施設改善（トイレ設置 等）」を掲げています。</p> <p>地域ごとの利用者ニーズの的確な把握に努めつつ、利便性向上につながる駅機能（駅舎）の改善を図ってまいります。</p>
9	駅を災害時の支援拠点として整備してほしい。住民の誰もが周知の場所として活用の可能性がある。	
10	駅周辺などの未使用の土地（月極駐輪場・駐車場等）を有効活用してほしい。	<p>P. 48「施策Ⅱ-3 駅周辺におけるにぎわいの創出」、P. 53「施策Ⅲ-4 交通結節点の機能強化」において、実施予定事業として、「①駅周辺の施設整備」、「①パー</p>

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
		<p>クアンドライド用駐車場等の整備」を掲げています。</p> <p>各駅周辺の土地活用及び情報発信方法については、沿線市町等による駐輪場や駐車場、自習室の整備、季節感を演出したイベント等、地域ニーズに応じた活用を進めてまいります。</p>
11	<p>「養老賑わい広場」として、養老駅に多目的広場をつくり、月1回（毎月31日等）キッチンカーや等と呼び、季節感を演出する装飾をして、駅周辺を活性化させる。</p>	<p>P. 48「施策Ⅱ-3 駅周辺におけるにぎわいの創出」において、実施予定事業として「② 主要駅周辺でのイベント開催」を掲げています。</p> <p>地域コミュニティの活性化につながるような、地域住民主催のマルシェや定期的なイベント等の具現化に向けて取り組んでまいります。</p>
12	<p>駅周辺のへの新築を促してほしい。</p>	<p>P. 48「施策Ⅱ-3 駅周辺におけるにぎわいの創出」において、実施予定事業として、「④ 駅周辺での定住促進策等の実施」を掲げています。</p> <p>沿線の駅周辺へ居住、定住を誘導する取り組みを、他市町の事例を参考にしつつ、情報収集をしてまいります。</p>
13	<p>現在のレンタサイクルを、借りた場所とは異なる駅や施設でも返却できる「乗り捨て型」の広域連携サービスとして整備してほしい。沿線を周遊しやすくなることで、観光振興や鉄道利用の促進につながると考える。</p>	<p>P50. 「施策Ⅲ-3 新しい移動手段の導入」において、「① シェアサイクル・レンタサイクルの設置」を掲げています。</p> <p>運用体制や関係施設との調整といった課題も整理しながら、事業者や沿線市町、関係者と連携し、二次交通の充実による利便性向上に向けて検討してまいります。</p>
14	<p>定期外利用者を増やす施策として、市町村とのイベント、イベント列車の復活、季節臨時列車、復刻カラー車両の運行などを行ってほしい。</p>	<p>P. 54「施策Ⅳ-1 観光資源等との共創による養老線の活用」において、実施予定事業として、「① 観光資源を活用した周遊イベントの実施」、「② 企画列車の運</p>

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
15	養老駅から養老の滝まで走りきる「養老駅伝」を開催する。	<p>行・記念切符の販売」、「③ 新たな観光ニーズの掘り起こし（インバウンド対応等）」を掲げています。</p> <p>今後、リニア中央新幹線の開業も見据えながら、外国人観光客やリニア利用者など、これまで鉄道を利用する機会の少なかった方々も含め、新たな利用者の確保に取り組んでまいります。</p> <p>いただいたご提案も踏まえ、P.54「施策Ⅳ-1 観光資源等との共創による養老線の活用」の実施予定事業を「③ 新たな観光ニーズの掘り起こし（インバウンド対応・リニア中央新幹線開業による誘客効果の検討等）」に変更し、沿線市町の観光イベントとの連動（広報活動を含む）を図りつつ、事業者や観光協会・商工会など多様な関係者と連携し、定期外利用者を増やすイベント等の具現化に向けて取り組んでまいります。</p>
16	<p>海外への宣伝を行い、外国人観光客を呼び込んでほしい。</p> <p>東赤坂駅から赤坂方面にかけての一带を観光地化してほしい。</p>	
17	<p>養老鉄道には、次のような利用者発掘の可能性・活用資源があると考えます。</p> <p>① 後背地の名古屋圏に700万人を控えており、利用者発掘が可能</p> <p>② 東海道本線・関西本線・近鉄名古屋本線と直結し、環状化しており利用しやすく発掘が可能</p> <p>③ 養老公園、養老山地（国定公園）、木曽三川公園、多度神社など、公園利用や登山等での誘客が可能</p> <p>④ 車窓から望む沿線風景は、森林・田園・高速道路との並走などバラエティーに富む</p> <p>⑤ 車両供与など協力が得られる近鉄・東急電鉄などの誘客活用資源がある</p> <p>⑥ 10年後のリニア新幹線開業後は首都圏が日帰り圏となるため、今から誘客方策を具現化すべき（JR・東急の協力を得る）</p>	
18	<p>沿線の高校生が協力して自校の宣伝を行う制度（仕組み）をつくる。</p> <p>主な内容として、高校生による車内アナウンス、高校生考案のデザインの車内広告掲示、自校の行事や部活の宣伝、各高校の校章を活用したヘッドマークの作成・掲示など。</p>	<p>P.55「施策Ⅳ-2 企業、学校等沿線関係者との連携」において、実施予定事業として「② 高等学校の授業との連携」を掲げています。</p> <p>沿線の高校生が主体となって協力し、車内アナウンスや広告掲示、自校のPRなどは高校生（若者）の学びや経験につなが</p>

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
		<p>ることだけではなく、若年層のマイルール意識の醸成につながり大変有効な提案だと思います。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、P. 55「施策IV-2 企業、学校等沿線関係者との連携」の実施予定事業に「④高校生などによる表現の場の提供等・高校生などによるPRやタイアップ企画」を追加し、今後の施策推進に向け検討してまいります。</p>
19 ～ 20	<p>本計画に賛同する。</p> <p>(大垣市)</p>	—

3 その他

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
21	増便に対応するため、人員補強案として乗務員の待遇改善を検討してほしい。	<p>公共交通を支える人材（運転手・車掌等）の確保・育成は、持続可能な運行体制を維持するために重要であると認識しております。</p> <p>事業者が安定的かつ魅力ある職場づくりを進められるよう、沿線市町として必要な支援のあり方を検討してまいります。</p>
22	車内への自転車設置場所の設置と、ベビーカーには固定用等の設置ベルトを要望します。	<p>車内への自転車設置スペースの確保やベビーカー用固定ベルトの設置は、全ての利用者が安全・快適に利用できる環境づくりにつながると認識しております。</p> <p>これらは車両の構造や安全確保に関わる事項であるため、いただきましたご意見を事業者に情報共有し、今後の車内環境づくりの参考とさせていただきます。</p>
23	三重方面からの乗換の際、現金しか使えない桑名駅の券売機をキャッシュレス化してほしい。	<p>キャッシュレス決済への対応は、利便性向上や確実な運賃収受の観点からも重要と認識しております。</p> <p>いただいたご意見を事業者に情報提供し、今後の利便性の向上の参考とさせていただきます。</p>
24	座席の専有や乗降口への居座り等、高校生のマナーが悪い。車内放送の徹底や沿線高校への指導強化を求める。	<p>全ての利用者が快適に利用できる車内環境は大変重要と認識しております。車内放送や学校への働きかけ等の対応につきましては、事業者と情報共有し、関係機関と連携しながら、マナー向上の取組の参考とさせていただきます。</p>

No.	意見の概要	市の考え方（対応）
25	<p>養老鉄道沿線で開催されるイベントや観光情報について、開催地だけでなく沿線各駅でも積極的に広報してほしい。また、養老鉄道が実施するイベントや企画についても、沿線市町が広報紙やSNS等で情報発信に協力することで、沿線全体の活性化につながると考えます。</p>	<p>沿線のイベントや観光情報を沿線全体で発信し合うことは、地域の回遊性を高め、養老鉄道の利用促進と沿線全体の活性化につながる大変重要な視点と認識しております。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、駅や車内での情報発信できるよう事業者へ情報共有しつつ、沿線市町の広報紙やSNS等の活用を検討してまいります。</p>
26	<p>先駆的な視点から、養老鉄道の運営合理化として無人運転化を進めてほしい。国交省等からモデル鉄道の認定を受け、無人運転化の実現を図ってはどうか。ただし、乗務員がいないと利用しにくいと感じた経験から、運転は無人化しつつ、現在の運転士は当面、安全要員・乗客対応要員として活躍してもらう形が望ましい。</p>	<p>先進技術の活用による運営の合理化と、利用者が安心して利用できる有人での対応を両立させるというご提案は、持続可能な運行体制やサービス力の向上を考えるうえで重要と認識しております。</p> <p>一方で、無人運転化の実現には、鉄道施設や保安設備の大規模な改修、法令・制度面の対応など、多くの課題があるものと考えられます。いただいたご提案につきましては、先進事例や鉄道技術の動向を注視しながら、事業者と情報共有を図り、今後の運営のあり方を検討する際の参考とさせていただきます。</p>